

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第7部門第4区分
【発行日】平成27年11月5日(2015.11.5)

【公開番号】特開2014-79092(P2014-79092A)
【公開日】平成26年5月1日(2014.5.1)
【年通号数】公開・登録公報2014-022
【出願番号】特願2012-225461(P2012-225461)
【国際特許分類】

H 0 2 J 3/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 2 J 3/00 G

H 0 2 J 3/00 K

【手続補正書】

【提出日】平成27年9月4日(2015.9.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

機器のオン期間とオフ期間とを判定するオンオフ期間判定部と、
前記オンオフ期間判定部により判定された前記オン期間にオン電力を割り当てることにより、機器の消費電力を予測する消費電力予測部と
を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

前記消費電力予測部は、
さらに、前記オフ期間に、オフ電力を割り当てることを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記オンオフ期間判定部は、
機器のオンオフ状態を統計処理して機器のオンオフ確率を求め、オン確率が高い期間をオン期間とし、オン確率が低い期間をオフ期間とすることを特徴とする請求項1または2に記載の情報処理装置。

【請求項4】

前記オンオフ期間判定部は、
機器のオンオフ確率を求めた後に統計処理し、オン確率の統計値が高い期間をオン期間とし、オン確率の統計値が低い期間をオフ期間とすることを特徴とする請求項1または2に記載の情報処理装置。

【請求項5】

前記オンオフ期間判定部は、
機器のオンオフ運転動作状況に基づいて、オン期間とオフ期間とを判定することを特徴とする請求項1から4までのいずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項6】

前記オンオフ期間判定部は、
機器の消費電力に基づいて、オン期間とオフ期間とを判定することを特徴とする請求項1から5までのいずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項7】

前記オン確率の高低を、所定の期間の機器の合計使用時間をオン期間にするようにするしきい値に基づいて判定することを特徴とする請求項5または請求項6に記載の情報処理装置。

【請求項8】

さらに、前記オンオフ期間判定部により求めた前記オン期間に、機器の動作環境の機器の使用条件別消費電力情報に基づいて前記消費電力予測部で異なるオン電力を適用することを特徴とする請求項1から7までのいずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項9】

機器の消費電力の時間変化特性を記憶する測定値記憶部と、
前記消費電力の時間変化特性を前記測定値記憶部から読み出す消費電力読み出し部と、
前記消費電力読み出し部が読み出した前記消費電力の時間変化特性を統計的に処理した統計値を求める統計処理部と、
前記統計処理部により求めた統計値を消費電力のしきい値に基づいてオン期間とオフ期間とに切り分けるオンオフ期間判定部と、
前記オン期間にオン電力を、前記オフ期間にオフ電力を割り当てて消費電力を予測する消費電力予測部と
を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項10】

機器のオン期間又はオフ期間として、予測値又は設定値を適用するオンオフ期間設定部と、
前記オン期間にオン電力を割り当てることにより、消費電力を予測する消費電力予測部を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項11】

請求項1から10までのいずれか1項に記載の情報処理装置による消費電力予測結果に基づいて、機器制御又は前記機器制御に関連する情報処理を行うことを特徴とする機器制御システム。

【請求項12】

機器のオン期間とオフ期間とを判定するオンオフ期間判定ステップと、
前記オンオフ期間判定ステップにより判定された前記オン期間にオン電力を割り当てることにより、消費電力を予測する消費電力予測ステップとを有することを特徴とする情報処理方法。